

令和6年度上伊那圏地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	こども若者部会 第1回支援ネットワーク連絡会	参加者数	32人	会場	伊那市 防災コミュニティセンター 第1.2研修室
	日時	令和6年8月1日(木) 15:30~17:30				
主 題 マ	(1) 部会・連絡会体制の説明 (2) 今年度の活動計画 (3) 発達障がい地域ケアパス作成(グループワーク) (4) こども・若者部会で出された地域課題の共有 (5) その他連絡					
	(1) 部会・連絡会体制の説明 昨年度に引き続き、各連絡会(支援ネットワーク連絡会、重心・要医療的ケア連絡会、こどもサービス連絡会)と連携を取りながら、こども・若者への支援力向上を目指していく。					
	(2) 今年度の活動計画 Q-SACCSを基にした一般公開用資料『発達障がい地域ケアパス』を作成発表し、精神発達症の子どもと家族の地域支援体制の整備を図る。					
	(3) 発達障がい地域ケアパスの作成(グループワーク) 【地域ケアパスの作成目的】 各自治体の事業について法的根拠と機能に基づいて事業整理を行うことができる。また、一般公開向けに掲示することで支援者・当事者・保護者が自治体の支援体制について見通しと共通認識を持つことができる。 作成手順の説明後、各市町村に分かれて地域ケアパスの作成を行った。→次回の連絡会までに作成依頼。					
	(4) こども・若者部会で出された地域課題の共有 ① 高校・通信制高校卒後の社会適応について リモート授業が増えていく中、コミュニケーション不足により社会適応力の低下が懸念される。また、退学・編入者に対し具体的支援もなく、市町村とともに動きたいが本人と保護者の承諾が得られないと繋げることもできない状況。本人が自己認識できるための支援も必要といった意見が上がった。					
	② 養護学校の通学に関して 保護者は車イスも可能な通学支援体制を求めている。他県では、通学支援制度や働く保護者の為に朝の預かり支援を実施している。今年度のつくしグループ懇談会にて上がった課題と伊那養護学校の通学体制の現状、他県の好事例を共有した。					
	(5) その他連絡 次回連絡会の日程変更。 令和7年1月14日(火) 15:30~17:30 講師: 信州大学医学部付属病院 子どものこころ診療部 本田秀夫先生					
ま と め	発達障がいの地域支援体制整備として、地域ケアパスの必要性と作成手順の確認ができた。 第一回こども若者部会にて上がった地域課題と他県の好事例の共有ができた。					
次 回	令和7年1月14日(火) 15:30~17:30 開催方法: 未定					